	令和7年度シラバス(「情報」)			学番46 新潟県立吉田高等学校		
教科(科目)	情報(情報I)	単位数	2単位	学年(コース)	1学年必修	
使用教科書	東京書籍『新編情報 I 』					
副教材等	なし					

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

	7 7 7 C C C C C C C C C C C C C C C C C						
グラデュエーション・ポリシー	卒業までに次の資質・能力を育成します。 ① 自己を知り、他者を尊重する思いやりの心を育成します。 ② 自らの進路目標を持ち、その実現に向けて努力する姿勢を育成します。 ③ 自己の住む地域を知り、地域に貢献し、リーダーとなり得る能力を育成します。 ④ 自ら学び、自ら考え判断し行動できる力を育成します。						
カリキュラム・ポリシー	資質・能力を育成するために、次のような教育活動を行います。 ① 人権教育、同和教育を計画的に、教科横断的に実施するとともに、日頃からグループ学習などで生徒同士の関わりを大切にします。 ② 多様な進路希望を実現するため、基礎学力の定着やキャリア教育の充実を図り、生徒が主体的に学ぶ進路学習に取り組みます。 ③ 地域と連携しながら、ひと・文化・産業などについて深く学び、他者と協働し発展的な思考を育てる活動を行います。 ④ 「わかる授業」の実践に努め、生徒の学習意欲向上と主体的・対話的で深い学びの実践活動を行います。						

2 学習目標

情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 知識・技能の目標 効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深めようとする。
- (2) 思考・判断・表現の目標 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。
- (3) 主体的に学習に取り組む態度の目標 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

3 指導の重点

- ・進学・就職等希望進路が様々であることから
 - ① 社会の中で情報の役割について理解し、インターネットのマナーや法規を学習する活動を通して、情報社会に主体的に対応できる態度を養います。
 - ② 文書処理ソフトウェアと表計算ソフトウェアの基本操作の確実な習得を目指します。
 - ③ 情報社会における問題を発見し、情報デザインやプログラミング等の活動を通して、解決するための考えを深めていくことを目指します。

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考·判断·表現	主体的に学習に取り組む態度
効果的なコミュニケーションの実現、コンピ	事象を情報とその結び付きの視点から捉え、	情報社会との関わりについて考えながら、問
ュータやデータの活用について理解し、技能を身	問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切	題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術
につけているとともに、情報社会と人との関わり	かつ効果的に用いている。	を活用し、自ら評価し改善しようとしている。
について理解している。		

5 評価方法

	Harrier .						
	各観点における評価方法は次のとおりです。						
	知識・技能	思考·判断·表現	主体的に学習に取り組む態度				
評価方	・ ペーパーテストの分析 ・ パーテストの分析 ・ パーテストの分析 ・ ワークシート ・ ワークシート ・ 学習の振り返りシート などから、評価します。 ・ ワード文書、エクセル表、ソースコードの内容 などから、評価します。						
法	内容のまとまりごとに、各観点「 A : 十分満足できる」、「 B : おおむれ満足できる」、「 C : 努力を要する」で評価します。内容のまとまりごとの評価 基準は授業で説明します。						

6	学習計画
•	

6	子省計画				
月	単元名	教材名	学習活動(指導内容)	時 間	評価方法
4	オリエンテーション	オリエンテーション資 料	・Society5.0 から情報 I の学習目標とシ ラバスを理解する。 ・実習用コンピュータの使い方を学ぶ。		ワークシート (記述の点検)
	1 情報とメディアの特性	表現メディアの違いに よるメリットとデメリ ット	情報やメディアの特性を理解する。・各メディアのメリット、デメリットを判断し、記述する。	6	ワークシート (記述の確認) ワークシート (記述の点検)
	2 問題解決の流れ3 発想法	アイディアを大量生産しよう	・問題の発見・解決に情報技術が活用できることを理解する。・ブレーンストーミング、KJ 法の手法を身につけている。・多様な意見をまとめる。		ワークシート (記述の確認) 学習の振り返りシート (分析)
5	4 情報モラル 6 傷つかない傷つけ ないために	デジタルネイティブと して身につけるべきこ と	・情報社会で生活していくための情報モラルを理解する。 ・情報社会の安全を守るための、法規や制度および個人の責任について学習する。 ・SNS 等の不適切な使い方による問題について考える。	8	ワークシート (記述の確認) ワークシート (記述の確認) ワークシート (記述の点検)
	5 個人情報の流出	デジタルネイティブと して身につけるべきこ と	・SNS を通して個人情報が流出・特定される仕組みを学習し、セキュリティ上よいとされるパスワードはどのようなものか判断する。		ワークシート (記述の点検)
	7著作権	著作権クイズ	著作権について理解し、学校で利用できる 著作物を判断する。		ワークシート (記述の点検)
	文書処理ソフトウェ アの操作	Word	・文書処理ソフトウェアの基本操作を身につける。・文書処理ソフトウェアで図、表、画像を利用する方法を身につける。		Word で作成した文書 (文書の確認)
6	文書処理ソフトウェ アの操作	Word	・文書処理ソフトウェアの操作の考え方から、さまざまな処理の方法を考えて文書作成を行う。	4	Word で作成した文書 (文書の点検)
	18 情報デザイン	わかりやすく効果的に伝える方法とは	・抽象化、可視化、構造化の方法を理解する。 ・文書処理ソフトを使用して、適切な表現 方法を判断し、スライドを作成する。		ワークシート (記述の確認) 成果物の確認 (スライド) 学習の振り返りシート (分析)
	19 ユニバーサルデザイン	ユニバーサルデザイン とは何か	・ユニバーサルデザインについて理解す る。		ワークシート (記述の確認)

	20 情報デザインの流れ		・グループワークを通して、デザイン思考 に基づいて、想定したユーザの考えや行動 を分析し、まとめる。		学習の振り返りシート (分析)
7	期末考査			6	考査の内容 (記述の確認)
	8 情報技術の発展 9 情報化と私たちの 生活の変化 10 よりよい情報社	情報化が私たちの生活 に与えた影響とは	・画像処理や電子商取引などの新しい情報技術について学習する。 ・人工知能やロボットなどの情報技術と 生活の変化を理解する。		ワークシート (記述の確認)
	会へ		・情報化による健康への影響などの問題 について学習する。		ワークシート (記述の点検)
8	11 コミュニケーション手段の変化12 ネットコミュニケーションの特性	インターネットのコミ ュニケーションの特徴	メディアとコミュニケーションの変遷に ついて学習する。 ・メディアの特性について学習する。	2	ワークシート (記述の確認)
9	表計算ソフトウェア の操作	Excel	・表計算ソフトウェアの書式の設定や配置の変更など、基本的な操作を学習する。 ・表計算ソフトウェアでの数式の利用を 学習する。 ・表計算ソフトウェアでの関数の利用を 学習する。	6	Excel で作成したデータ(データの確認)
			・表計算ソフトウェアの操作の考え方か ら、いろいろな処理の方法を考えることが できる		Excel で作成したデータ(データの確認)
10	36 データの形式	身近にあるデータ	・データとは何か学習する。・データの尺度とは何か学習する。	6	ワークシート (記述の確認)
	37 データベースの 活用 38 さまざまなデー タモデル		・データベースの役割がどのようなもの か理解する。・社会でのデータベースの活用例を学習 する。・データベースで使用するデータモデル について学習する。		ワークシート (記述の確認)
	39 データ分析の流れ40 目的に合わせたデータの利用	Excel	・データの代表値とグラフ化による分析 方法を理解する。 ・クロス集計の結果を分析する。		Excel で作成したデータ(データの確認)
	実 60 クラスの実態調査	アンケートをしてまとめよう	・クラスの実態調査をアンケートで行い、 分析をする。・プレゼンテーションソフトウェアを使用して発表スライドを作成する。		ワークシート (記述の確認) スライドの確認 (スライドの内容)
11	実 60 クラスの実態 調査	アンケートをしてまとめよう	・プレゼンテーションソフトウェアを使用して発表スライドを作成する。・班ごとに発表する。	6	スライドの確認 (スライドの内容) 学習の振り返りシート (分析)

(3 デジタルの世界 アナログとデジタル ・デジタルデータとは何か学習する。 ・デジタルデータのメリットとデメリットを理解する。 ・デジタルデータのメリットとデメリットを理解する。 ・デジタルデータのメリットとデメリットを理解する。 ・デジタルデータのメリットとデメリットを理解する。 ・デジタルデータのメリットとデメリットを理解する。 ・デジタルでののメリットとデメリットを理解する。 ・デジタルでの企の原理を理解する。 ・デジタルピーンハで学習する。 ・デジタルでの企の原理を理解する。 12 定期客主 6 考査の内容 (3 対・アンターネットの 1 対 リークシート (3 オンターネットの 1 対 インターネットの 1 対 インターネットの 1 対 インターネットの 1 が アント ・								
14 数値と文字のデジタル表現		13 デジタルの世界	アナログとデジタル	デジタルデータとは何か学習する。		ワークシート		
ジタル表現 ・デジタルデータとは何か学習する。・デジタルデータのメリットとデメリットを理解する。・デジタルで一夕のメリットとデメリットを理解する。・フェのデジタル表現について学習する。・文学のデジタルを表現について学習する。・文学のデジタルを表現について学習する。・学 対象の・デジタルでの色の原理を理解する。・デジタルでの色の原理を理解する。・デジタルでの色の原理を理解する。・デジタルでの色の原理を理解する。・デジタルでの色の原理を理解する。・デジタルでの色の原理を理解する。・デンタルでの色の原理を理解する。・・サーバを受験について学習する。・・サーバを受験について学習する。・・サーバを受験について学習する。・・サーバとクライアント の表験を学習する。・・カーバックを実について学習する。・・カーバック・ネットでの日で、ア・レスと INSのを数を学習する。・・カーバックを表現とついて学習する。・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		~		・デジタルデータのメリットとデメリッ		(記述の確認)		
ジタル表現 ・デジタルデータとは何が学習する。 ・デジタルデータのメリットとデメリットを理解する。 16 色と動画のデジタル表現。 ・主要除する。 ・2 連出と情報の単位について学習する。 17 目的に応じたデジタル化 ・音 画像、動画のデジタルを現こかいて学習する。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		14 数値と文字のデ		トを理解する.				
16 音と画像のデジタル表現		ジタル表現						
カル夫剛		15 音と画像のデジ						
16 色と動画のデジタル表現		タル表現						
タル表現 ・2 進送と情報の単差別について学習する。 17 目的に応じたデジタル化 ・査、両像、動画のデジタル化について学習する。 ・音、両像、動画のデジタル化について学習する。 ・子ジタルでの色の原理を理解する。 ・アジタルでの色の原理を理解する。 6 ネットワークとインターネットの仕組 ・情報通信ネットワークとは何か学習する。 ・22 インターネットの仕組み。 ・リーノの役割について学習する。 ・33 サーバとクライアント ・インターネットでのIP アドレスと DNS の役割を学習する。 ・設部後に使えるようになるサービスに は、どのようなものがあるか高べる。 ・記述の点検 ・ 20 サービス 35 情報セキュリティ カ ・情報セキュリティの機能を発する。 ・情報セキュリティの機能を発生する。 ・情報セキュリティを解除する。 ・情報セキュリティの機能を発生、完全性、可用性を理解する。 ・情報セキュリティを解除するための方法技術のついて理解サる。 ・コンビュータを基本構成について理解サる。 21 コンビュータと ハードウェアとソフト ウェアとソフトウェアについて理解サる。 ・コンビュータの基本構成について理解する。 ・1 本海の (記述の確認) ・アルデとソフトウェアについて理解サる。 22 ソフトウェアの 仕組みとコンビュータの銀界 ・アルゴリズムの表現方法について学習・(記述の確認) 2 学年末考室 6 考金の内容(記述の確認) 24 アルゴリズムの表現方法について学習・(記述の確認) ワークシート ・アルゴリズムの表現方法について学習・表記の確認 ワークシート ・デルゴリズムの表現方法について学習・(記述の確認) ワークシート ・デルゴリズムの表現方法について学習・(記述の確認)				トを理解する。				
17 目的に応じたデジタル化 ・文字のデジタル表現について学習する。				・2 進法と情報の単位について学習する。				
・音、画像、動画のデジタル化について学習する。				・文字のデジタル表現について学習する。				
2 2 定期考査				・音、画像、動画のデジタル化について学				
12 定期考査 6 考査のトヤ容 (Gご述の確認) 7 7 7 7 7 7 7 7 7		V //• L		習する。				
12 定期考査 6 考査のトヤ容 (Gご述の確認) 7 7 7 7 7 7 7 7 7								
ネットワークとイン ターネットの仕組 ・情報通信ネットワークとは何か学習する。	10	/> ₩□ // *)	G	老木の内容	\dashv	
ネットワークとイン ターネット 32 インターネットの 仕組み 33 サーバとクライ アント ・情報通信ネットワークとは何か学習する。 ・LANとWNの違いを学習する。 ・サーバの役割について学習する。 ・インターネットでの IP アドレスと INS の役割を学習する。 ・認証後に使えるようになるサービスに は、どのようなものがあるか調べる。 ワークシート (記述の点検) 1 34 インターネット上 のサービス 35 情報セキュリティ 35 情報セキュリティ 4 1 コンピュータと は何か ウェア ・職解について学習する。 ・電子メールについて学習する。 ・情報セキュリティの機能性、完全性、可 用性を理解する。 ・情報セキュリティを確保するための方 法・技術について学習する。 ・情報セキュリティを確保するための方 法・技術について学習する。 ・コンピュータの基本構成について理解 する。 ・ハードウェアとソフト ウェア ワークシート (記述の高検) 21 コンピュータと は何か 22 ソフトウェアの 仕組み 23 演算の仕組みと コンピュータの限界 ・コンピュータの基本構成について理解 する。 ・ハードウェアとソフトウェアについて 理解する。 ワークシート (記述の確認) 2 学年末考査 ・アルゴリズムの必要性を理解する。 ・アルゴリズムの表現方法について学習 ・アルゴリズムの表現方法について学習 (記述の確認) ワークシート (記述の確認)	14	上期有 宜			0			
ターネット 32 インターネットの 仕組み 33 サーバとクライ アント み ・サーバの役割について学習する。 ・オンターネットでの IP アドレスと DNS の役割を学習する。 ・認証後に使えるようになるサービスに は、どのようなものがあるか調べる。 ワークシート (記述の点検) 1 34 インターネット上 のサービス 35 情報セキュリティ インターネットの仕組 み ・電子メールについて学習する。 ・情報セキュリティの機能性、完全性、可 用性を理解する。 ・情報セキュリティを確保するための方 法・技術について学習する。 ・情報セキュリティを確保するための方 法・技術について学習する。 ・「情報セキュリティを確保するための方 法・技術について理解 する。 ・ハードウェアとソフト ウェア ワークシート (記述の確認) 21 コンピュータと は何か 22 ソフトウェアの 仕組み 23 演算の仕組みと コンピュータの限界 ・コンピュータの基本構成について理解 する。 ・ハードウェアとソフトウェアについて 理解する。 ワークシート (記述の確認) 2 学年末考査 6 考査の内容 (記述の確認) 2 学年末考査 6 考査の内容 (記述の確認) 24 アルゴリズムの表 現 ・アルゴリズムの表現方法について学習 (記述の確認) ワークシート (記述の確認)						(言己正の推論的)		
ターネット 32 インターネットの 仕組み 33 サーバとクライ アント み ・サーバの役割について学習する。 ・オンターネットでの IP アドレスと IMS の役割を学習する。 ・認証後に使えるようになるサービスに は、どのようなものがあるか調べる。 ワークシート (記述の点検) 1 34 インターネット上 のサービス 35 情報セキュリティ インターネットの仕組 み ・電子メールについて学習する。 ・情報セキュリティの機密性、完全性、可 用性を理解する。 ・情報セキュリティを確保するための方 法・技術について学習する。 ・情報セキュリティを確保するための方 法・技術について学習する。 ・情報セキュリティを確保するための方 法・技術について理解 する。 ・ハードウェアとソフト ウェア ワークシート (記述の確認) 21 コンピュータと は何か 22 ソフトウェアの 仕組み 23 演算の仕組みと コンピュータの限界 ・コンピュータの基本構成について理解 する。 ・ハードウェアとソフトウェアについて 理解する。 ワークシート (記述の確認) 2 学年末考査 6 考査の内容 (記述の確認) 2 学年末考査 6 考査の内容 (記述の確認) 24 アルゴリズムの表 現 ・アルゴリズムの表現方法について学習 (記述の確認) ワークシート (記述の確認)								
ターネット 32 インターネットの 仕組み 33 サーバとクライ アント み ・サーバの役割について学習する。 ・オンターネットでの IP アドレスと DNS の役割を学習する。 ・認証後に使えるようになるサービスに は、どのようなものがあるか調べる。 ワークシート (記述の点検) 1 34 インターネット上 のサービス 35 情報セキュリティ インターネットの仕組 み ・電子メールについて学習する。 ・情報セキュリティの機能性、完全性、可 用性を理解する。 ・情報セキュリティを確保するための方 法・技術について学習する。 ・情報セキュリティを確保するための方 法・技術について学習する。 ・「情報セキュリティを確保するための方 法・技術について理解 する。 ・ハードウェアとソフト ウェア ワークシート (記述の確認) 21 コンピュータと は何か 22 ソフトウェアの 仕組み 23 演算の仕組みと コンピュータの限界 ・コンピュータの基本構成について理解 する。 ・ハードウェアとソフトウェアについて 理解する。 ワークシート (記述の確認) 2 学年末考査 6 考査の内容 (記述の確認) 2 学年末考査 6 考査の内容 (記述の確認) 24 アルゴリズムの表 現 ・アルゴリズムの表現方法について学習 (記述の確認) ワークシート (記述の確認)								
32 インターネットの 仕組み 33 サーバとクライ アント ・LAN と WAN の違いを学習する。 ・サーバの役割について学習する。 ・インターネットでの IP アドレスと DNS の役割を学習する。 ・認証後に使えるようになるサービスに は、どのようなものがあるか調べる。 ワークシート (記述の点検) 1 34 インターネット上 のサービス 35 情報とキュリティ インターネットの仕組 み ・電子メールについて学習する。 ・情報とキュリティの機密性、完全性、可 用性を理解する。 ・情報とキュリティを確保するための方 法・技術について学習する。 ・情報とキュリティを確保するための方 法・技術について学習する。 ・「常報とキュリティを確保するための方 法・技術について学習する。 ・「コンピュータの基本構成について理解する。 ・ハードウェアとソフト する。 ・ハードウェアとソフトウェアについて 理解する。 ワークシート (記述の確認) 21 コンピュータを は何か 22 ソフトウェアの 仕組み 23 演算の仕組みと コンピュータの限界 ・コンピュータの基本構成について理解 する。 ・ハードウェアとソフトウェアについて 理解する。 ワークシート (記述の確認) 2 学年末考査 6 考査の内容 (記述の確認) 2 学年末考査 6 考査の内容 (記述の確認) 24 アルゴリズムの表 現 ・アルゴリズムの表現方法について学習 ワークシート (記述の確認)		ネットワークとイン	インターネットの仕組	・情報通信ネットワークとは何か学習す		ワークシート		
		ターネット	み			(記述の確認)		
仕組み 33 サーバとクライ アント		32 インターネットの		・LAN と WAN の違いを学習する。				
33 サーバとクライ アント		仕組み						
アント の役割を学習する。 ・認証後に使えるようになるサービスには、どのようなものがあるか調べる。 ワークシート(記述の点検) 1 34インターネット上のサービス 34インターネットの仕組のサービス 35 情報セキュリティの機会性、ラインターネットの仕組のは 21 コンピュータと ハードウェアとソフトウェア では何かりまする。 ・情報セキュリティを確保するための方法・技術について学習する。 ・ 「情報セキュリティを確保するための方法・技術について学習する。 ・ 「記述の点検) ワークシート(記述の点検) 21 コンピュータと ハードウェアとソフトウェアとソフトウェアとソフトウェアとソフトウェアとソフトウェアについては 2 ソフトウェアの仕組みと コンピュータの限界 ・ コンピュータの基本構成について理解する。 (記述の確認) ワークシート(記述の確認) 22 学年末考査 6 考査の内容(記述の確認) 24 アルゴリズムの表現方法について学習 現現を表現を表現を表現を表現していて学習 ・ アルゴリズムの表現方法について学習 (記述の確認)		33 サーバとクライ						
・認証後に使えるようになるサービスには、どのようなものがあるか調べる。 ワークシート(記述の点検) 1 34インターネット上のサービス 35 情報セキュリティ 35 情報セキュリティ 4 ・ で		アント						
は、どのようなものがあるか調べる。 (記述の点検) 1 34 インターネット上 インターネットの仕組								
1 34インターネット上 のサービス み ・電子メールについて学習する。 ・電子メールについて学習する。 ・情報セキュリティの機密性、完全性、可用性を理解する。 ・情報セキュリティの機密性、完全性、可用性を理解する。 ・情報セキュリティを確保するための方法・技術について学習する。 6 ワークシート (記述の確認) 21 コンピュータと ハードウェアとソフト ウェア とソフト ウェア する。 ・ハードウェアとソフト ウェア は何か ウェア する。 ・ハードウェアとソフトウェアについて理解する。 ・ハードウェアとソフトウェアについて理解する。 ・ハードウェアとソフトウェアについて理解する。 ・ハードウェアとソフトウェアについて理解する。 ・ハードウェアとソフトウェアについて理解する。 ・ハードウェアとソフトウェアについて理解する。 に記述の確認) 6 考査の内容 (記述の確認) 2 学年末考査 6 考査の内容 (記述の確認) 24アルゴリズムの表現方法について学習 現 のままして学習 現 のままして、アルゴリズムの表現方法について学習 に記述の確認) ワークシート (記述の確認)						ワークシート		
のサービス 35 情報セキュリティ み ・情報セキュリティの機密性、完全性、可 用性を理解する。 ・情報セキュリティを確保するための方 法・技術について学習する。 ワークシート (記述の点検) 21 コンピュータと は何か ウェア ハードウェアとソフト ウェア ・コンピュータの基本構成について理解 する。 ・ハードウェアとソフトウェアについて 理解する。 ワークシート (記述の確認) 22 ソフトウェアの 仕組み 23 演算の仕組みと コンピュータの限界 ・ハードウェアとソフトウェアについて 理解する。 6 考査の内容 (記述の確認) 2 学年末考査 6 考査の内容 (記述の確認) 24 アルゴリズムの表 現 のたったがこしの基本 (記述の確認) ワークシート (記述の確認)				は、どのようなものがあるか調べる。		(記述の点検)		
35 情報セキュリティ ・情報セキュリティの機密性、完全性、可用性を理解する。 ワークシート (記述の点検) 21 コンピュータと は何か ウェア ・コンピュータの基本構成について理解する。 ワークシート (記述の点検) 22 ソフトウェアの 仕組み 23 演算の仕組みと コンピュータの限界 ・ハードウェアとソフトウェアについて 理解する。 (記述の確認) 2 学年末考査 6 考査の内容 (記述の確認) 24アルゴリズムの表 現 ・アルゴリズムの必要性を理解する。 ワークシート (記述の確認) 2 ディボード・アルゴリズムの表現方法について学習 (記述の確認) ワークシート (記述の確認)	1	34 インターネット上	インターネットの仕組	・WWW について理解する。	6	ワークシート		
用性を理解する。		のサービス	み	・電子メールについて学習する。		(記述の確認)		
・情報セキュリティを確保するための方法・技術について学習する。 21 コンピュータとは何か。ウェア <td pp-クシートは一方では、こまままままままます。クークシートは一方では、こまままままままままままままままままままままままままままままままままままま<="" rowspan="2" td=""><td></td><td>35 情報セキュリティ</td><td></td><td>・情報セキュリティの機密性、完全性、可</td><td></td><td></td><td></td></td>	<td></td> <td>35 情報セキュリティ</td> <td></td> <td>・情報セキュリティの機密性、完全性、可</td> <td></td> <td></td> <td></td>		35 情報セキュリティ		・情報セキュリティの機密性、完全性、可			
は回か 法・技術について学習する。 (記述の点検) 21 コンピュータと は何か ・コンピュータの基本構成について理解する。 ワークシート (記述の確認) 22 ソフトウェアの 仕組み 23 演算の仕組みと コンピュータの限界 ・ハードウェアとソフトウェアについて理解する。 (記述の確認) 2 学年末考査 6 考査の内容 (記述の確認) 24 アルゴリズムの表 現方法について学習 (記述の確認) ・アルゴリズムの表現方法について学習 (記述の確認)					用性を理解する。			
は回か 法・技術について学習する。 (記述の点検) 21 コンピュータと は何か ・コンピュータの基本構成について理解する。 ワークシート (記述の確認) 22 ソフトウェアの 仕組み 23 演算の仕組みと コンピュータの限界 ・ハードウェアとソフトウェアについて理解する。 (記述の確認) 2 学年末考査 6 考査の内容 (記述の確認) 24 アルゴリズムの表 現方法について学習 (記述の確認) ・アルゴリズムの表現方法について学習 (記述の確認)				 ・情報セキュリティを確保するための方		ワークシート		
21 コンピュータと は何か ウェア ・コンピュータの基本構成について理解 する。 ワークシート (記述の確認) 22 ソフトウェアの 仕組み 23 演算の仕組みと コンピュータの限界 ・ハードウェアとソフトウェアについて 理解する。 理解する。 2 学年末考査 6 考査の内容 (記述の確認) 24 アルゴリズムの表 現 ・アルゴリズムの必要性を理解する。 ワークシート (記述の確認) 現 (記述の確認) ・アルゴリズムの表現方法について学習 (記述の確認)						(記述の点権)		
は何か	-	01 コンピューカレ	ハー ドウ_マ レ ソフト		<u> </u> 		-	
22 ソフトウェアの 仕組み 23 演算の仕組みと コンピュータの限界 ・ハードウェアとソフトウェアについて 理解する。 2 学年末考査 6 考査の内容 (記述の確認) 24 アルゴリズムの表 現 ・アルゴリズムの必要性を理解する。 ・アルゴリズムの表現方法について学習 ワークシート (記述の確認)								
仕組み 理解する。 23 演算の仕組みと コンピュータの限界 2 学年末考査 6 考査の内容 24アルゴリズムの表 Python ・アルゴリズムの必要性を理解する。 ワークシート ・アルゴリズムの表現方法について学習 記述の確認)			ソエノ			(古口スルソクル田町公)		
23 演算の仕組みと コンピュータの限界 6 考査の内容 (記述の確認) 2 学年末考査 6 考査の内容 (記述の確認) 24 アルゴリズムの表 現 ・アルゴリズムの必要性を理解する。 ・アルゴリズムの表現方法について学習 (記述の確認)								
コンピュータの限界 6 考査の内容 2 学年末考査 6 考査の内容 24アルゴリズムの表 Python ・アルゴリズムの必要性を理解する。 ワークシート 現 ・アルゴリズムの表現方法について学習 (記述の確認)		,		理解する。 				
2 学年末考査 6 考査の内容								
(記述の確認) 24 アルゴリズムの表 Python ・アルゴリズムの必要性を理解する。 ワークシート 現 ・アルゴリズムの表現方法について学習 (記述の確認)	2				6	老杏の内容	\dashv	
24 アルゴリズムの表 Python ・アルゴリズムの必要性を理解する。 ワークシート 現 ・アルゴリズムの表現方法について学習 (記述の確認)	۵	丁一丁/1/7旦.						
現 ・アルゴリズムの表現方法について学習 (記述の確認)	-	017, 00, 0		SI W A Variet 2 within 1 w			\dashv	
OF THE MEDIAN THE			Python					
25 プログラムの基本 する。 する。		<u> </u>		- ・アルゴリズムの表現方法について学習		(記述の確認)		
				する。				
構造1 ・プログラムの作り方について学習する。 学習の振り返りシート				・プログラムの作り方について学習する。		学習の振り返りシート		
26 プログラムの基本 ・分岐構造と反復構造を含んだプログラ (分析)				・分岐構造と反復構造を含んだプログラ		(分析)		
横造2 ムを作る		稱 近2		ムを作る				

3	29 モデル化とシミ	・モデル化の考え方と、モデルの分類につ	2	ワークシート
	ュレーション	いて学習する。		(記述の確認)
	30 シミュレーショ	・シミュレーションによるモデルの評価		
	ンの活用[p.80]	について学習する。		
		・テーマを決めて、表計算ソフトウェアで		
		シミュレーションを行う。		

計64時間 (55分授業)

7 課題·提出物等

- ・単元ごとに、振り返りシートをワードで入力し、提出してもらいます。
- ・考査問題 (ペーパーテスト) 以外にも、ワードやプログラミングなどの実技を確認するテストも行います。

8 担当者からの一言

「情報 I」は皆さんが情報社会における問題の発見と解決のためのスキルを身につける授業です。その道具として、「情報デザイン」「プログラミング」「データ活用」などを活用できることを目指します。また、皆さんが持っているスマートフォンやタブレットなどインターネット使う端末は、便利である反面、使い方を間違えると大きなトラブルに発展することもあります。ルールや法律などを覚えてもらうことももちろんですが、情報を発信・受信する立場としての責任についても深く考えてもらいます。

これからの情報社会の担い手の一人として活躍できる大人を目指して、前に一歩踏み出してみましょう。